

## 神宮教化研修開催

愛知県神社庁研修所主催（愛知県神社庁教化委員会共催）は、8月8日・9日の2日間に亘り、伊勢の神宮会館に於いて、神宮教化研修を開催し、県内神職16名が参加した。神宮の祭祀を始め機構全般にわたり研修をして、本宗たる神宮の正確な理解と崇敬心の涵養に役立てるとともに、次回御遷宮の啓蒙に即応する態勢の強化をはかる目的で毎年実施されている。

初日は、白井副庁長からの開講の挨拶後、第1講義として、神宮宮掌佐藤了古氏により、「神宮のおまつりについて」のテーマのもと、神宮の祭典内容やの歴史、皇室の関係などの講説を拝聴した。



第2講義は、神宮宮掌矢野高陽氏による「神宮の御料地について」の講義では神宮の御鎮座、日別朝夕大御饌祭と神饌を供する御料地についてご教授頂いた。



第3講義は、神宮宮掌菱川由貴氏による、「神宮の奉賛について」の講話では、私幣厳禁ではあったが、一般人の参拝が禁じられていなかった歴史や神宮大麻の由来や構造についての説明があ

った。講義後は、神宮夜間参拝を実施した。

2日目は、片山貢教化常任委員道彦の下、五十鈴川で禊を行い、そ

の後は神宮を参拝。午前中に神宮宮掌西本俊一朗氏のもと、絹(和妙)を織る神服織機殿神社と麻(荒妙)を織る神麻続機殿神社を参拝ならび説明を頂いた。続いて、7世紀後半の天武天皇から、14世紀の半ば、南北朝時代まで660年間続いた、斎王制度を詳しく展示する斎宮歴史博物館を見学した後、神宮会館にて閉講式が行われた。

